

## \* 深よみめんこちゃん \*

深堀保育園で過ごすめんこちゃん達。今回は、ひよこ組とらいおん組のクラスからよみ解き、深堀していきます。

### ～ひよこ組～ 「もうひとつ」

ゴム製のブロックで遊び始めたIちゃんは、小さいブロックを箱から選んで高く積み重ね、うまくできると保育士を見て手をたたきながら嬉しそうに笑います。手元に同じ形のブロックがなくなったとわかったら、次は大きいブロックを重ねることに…ところが、大きなブロックは思い通りに重ねることができず、首を傾げてしまいます。大きなブロックはうまく力が入らず、重ね合わせることはできませんでした。その後も繰り返し遊んでいたある日、ふと気づくと大きいブロックだけを自分の背丈程まで積み重ね、得意気な表情のIちゃんがいました。摘まむ・離すなどの動作を何度も行ううちに、自然と手先の器用さが身に付き、力加減を調節することも覚えていたIちゃんの成長の早さに驚いた時間でした。



こんなふうに育ってほしいなあ・・・

様々なものに関わる中で、たくさんの発見や喜びを味わってほしいな！

### ～らいおん組～ 「ハンターごっこ」

ハンターごっこが流行中の子ども達は、ハンター（鬼）にタッチされると牢屋（滑り台の下）で助けを待ち、助ける時は鍵（葉っぱ）を使うなど、イメージやルールを共有しながら遊んでいます。遊び始めた頃は、自分が有利になる方法を一人一人がルールに加えたり、ハンター（鬼）になると抜けようとしていたりして、遊びが長く続くことはありませんでした。そこで保育士と一緒にルールを確認したり、どうしたら楽しく遊ぶことができるのかを話し合ったりしました。繰り返し遊ぶ中で、「なかなか捕まえられないからハンターを増やそう」「ここ守ってるから捕まえてきて」「守るの交代しよう」などと遊んでいる全員でルールの変更を話したり、ハンター同士がどうしたら捕まえられるか、牢屋から逃がさないようにできるかなど声を掛け合ったりするようになってきました。自分達でルールを考え、それを守ることで遊びも続くようになり、友達と遊ぶ楽しさを感じられるようになってきたようです。



こんなふうに育ってほしいなあ・・・

友達と遊ぶ中で、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わってほしいな！